

# MPE720 Ver.7.33 バージョンアップ情報

## 1. 機能追加・改善項目

### 1.1 Ver.7.33 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.31 → Ver.7.33 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	CPU-302(16axes/32axes)コントローラに対応しました。	新規追加
2	Σ-Vシリーズサーボパック MECHATROLINK-II 通信指令型 複巻ユニットに対応しました。	新規追加
3	MECHATROLINK-III 通信指令型 ワイルドカード ステッピングモータドライブに対応しました。	新規追加
4	しおり機能をサポートしました。	新規追加
5	Windows 8 対応を実施しました。	機能強化
6	Σ-V-mini のサーボパラメータを追加しました。	改善
7	サーボパラメータ画面の初期状態でのサーボ選択数を変更しました。	改善
8	Σ-7W のパラメータ Pn010 を非表示に変更しました。	改善
9	リアルタイムトレース機能の表示更新処理を改善しました。	改善
10	MPE720 のモニタ通信処理を改善しました。	改善
11	クロスリファレンス機能の表示処理を改善しました。	改善
12	特定の IME と MPE720 の組合せで、日本語文字入力ができなくなる現象を改善しました。	改善
13	MC-Configurator のモジュール構成画面の表示を改善しました。	改善
14	エンジニアリングマネージャの調整パネル機能を非表示に変更しました。	改善
15	MC-Configurator のメモリリークについて改善しました。	改善

(※): Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΣV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。  
操作手順については、次頁を参照ください。

## 【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

### <原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(Σ V-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

### <対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

### 手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

#### 【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7\_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7\_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

#### 【DVD版の場合】

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

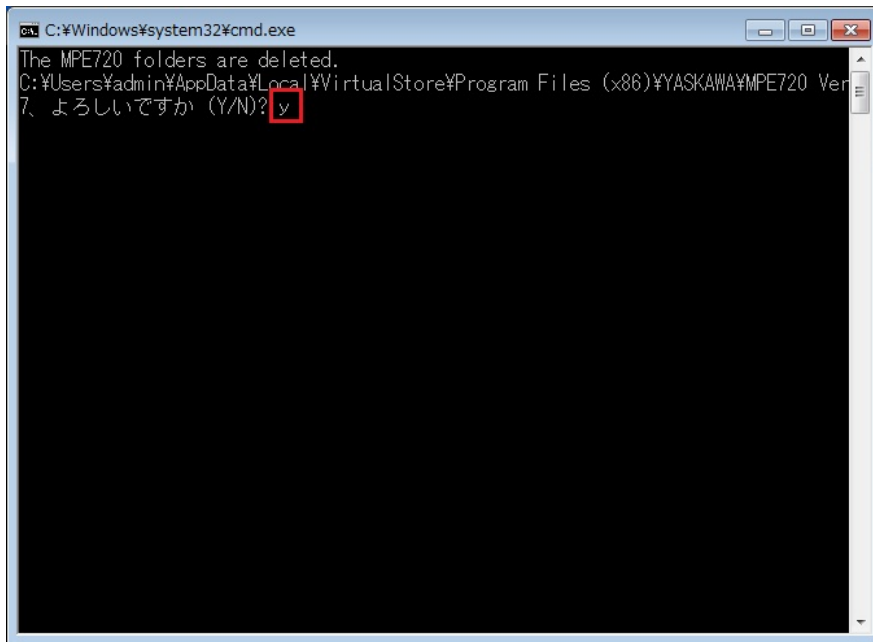
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7\_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7\_x64.bat (64ビット版OS用)

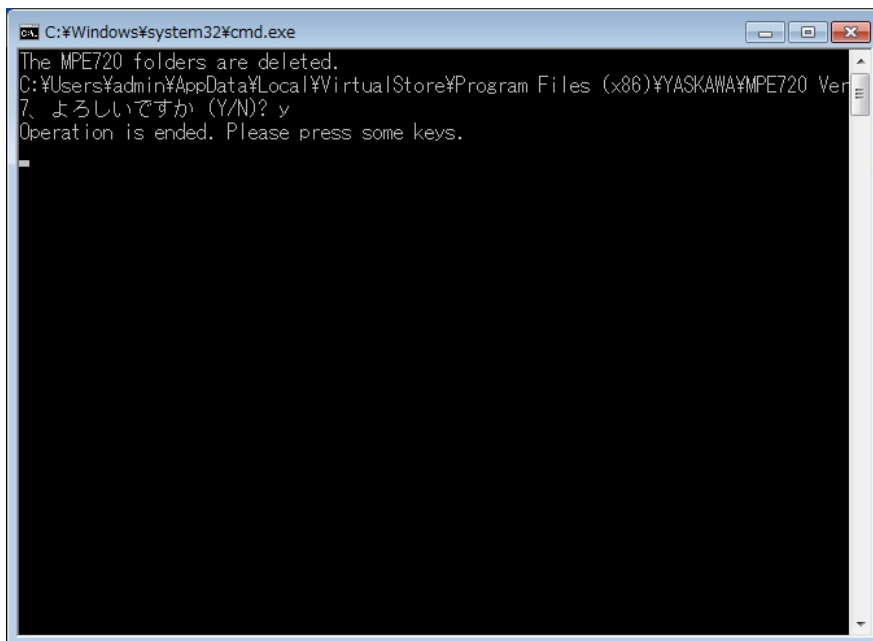


3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7, よろしいですか (Y/N)? y
```

4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7, よろしいですか (Y/N)? y
Operation is ended. Please press some keys.
_
```

(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users¥ユーザ名(※2)\AppData\Local\VirtualStore

## 【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

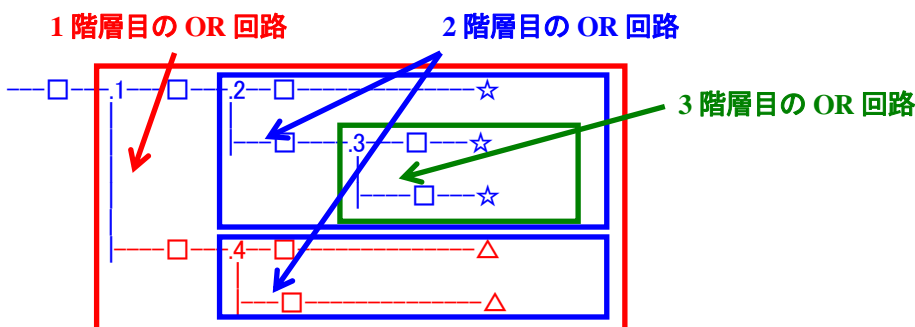
### <現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

### <対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



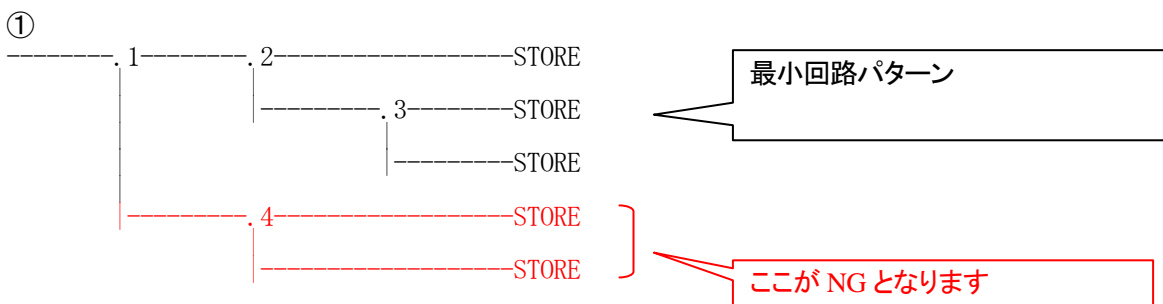
- 1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
- 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
- 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

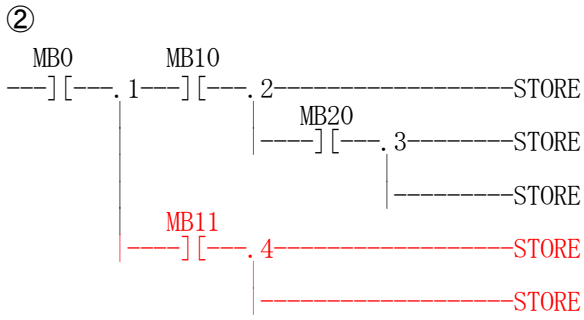
- (条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!、>、<) 命令など  
 ※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む
- ☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など  
 ※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。
- △(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

### 【現象発生パターン】

記号	命令
┌	A 接点
STORE	STORE 命令
( )	コイル

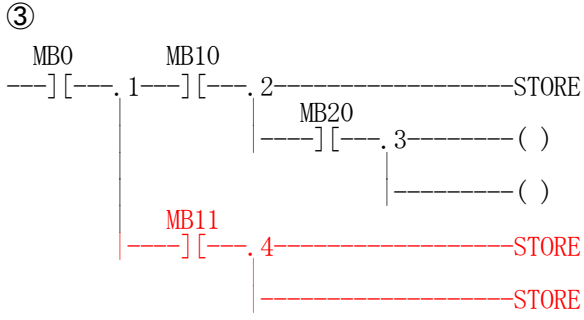
### 【NG パターン】





最小回路パターンに条件命令(A接点など)があっても NG

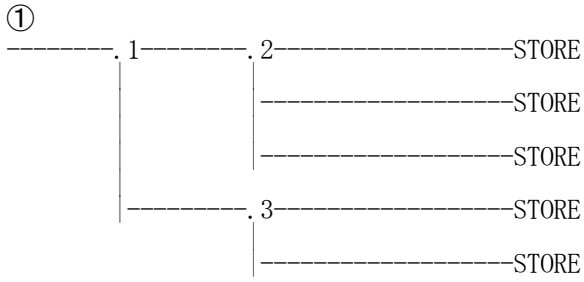
ここが NG となります



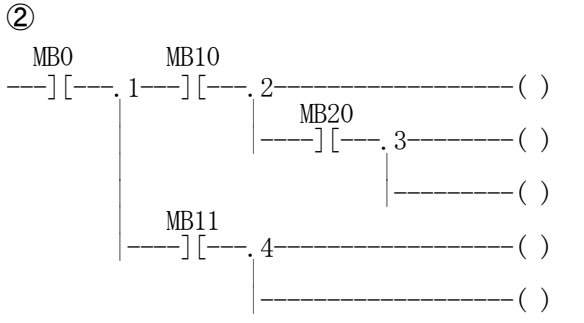
ここに1つでもブロック命令(STORE命令など)があると NG

ここが NG となります

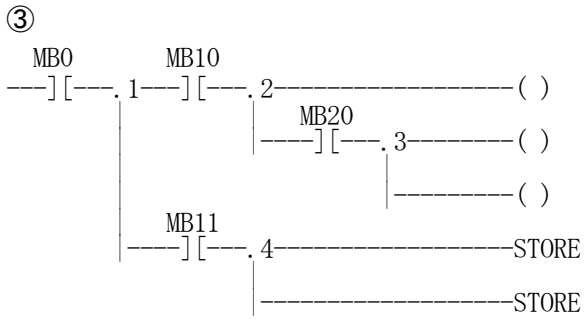
【OK パターン】



2 階層の OR 回路なので OK



すべてコイルなので OK



すべてコイルなので OK

## 1.2 過去のバージョンアップ情報

No.	バージョンアップ	備考
1	<a href="#">MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報</a>	Ver7.10→Ver7.11
2	<a href="#">MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報</a>	Ver7.11→Ver7.13
3	<a href="#">MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報</a>	Ver7.13→Ver7.14
4	<a href="#">MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報</a>	Ver7.14→Ver7.20
5	<a href="#">MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報</a>	Ver7.20→Ver7.21
6	<a href="#">MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報</a>	Ver7.21→Ver7.23
7	<a href="#">MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報</a>	Ver7.23→Ver7.24
8	<a href="#">MPE720 Ver7.26 バージョンアップ情報</a>	Ver7.24→Ver7.26
9	<a href="#">MPE720 Ver7.27 バージョンアップ情報</a>	Ver7.26→Ver7.27
10	<a href="#">MPE720 Ver7.28 バージョンアップ情報</a>	Ver7.27→Ver7.28
11	<a href="#">MPE720 Ver7.29 バージョンアップ情報</a>	Ver7.28→Ver7.29
12	<a href="#">MPE720 Ver7.30 バージョンアップ情報</a>	Ver7.29→Ver7.30
13	<a href="#">MPE720 Ver7.31 バージョンアップ情報</a>	Ver7.30→Ver7.31

## 2. 修正内容詳細

### No. 1 CPU-302(16axes/32axes)コントローラに対応しました。

MP3300 コントローラの CPU-302(16axes/32axes)に対応しました。

#### 1. CPU-302(16axes)コントローラ対応

新コントローラの CPU-302(16axes)を追加しました。  
CPU 内蔵の SVC モジュールのサーボ制御軸数: 16 軸

#### 2. CPU-302(32axes)コントローラ対応

新コントローラの CPU-302(32axes)を追加しました。  
CPU 内蔵の SVC モジュールのサーボ制御軸数: 32 軸

### 【対応バージョン】

#### ○コントローラ

コントローラ		対応バージョン
MP3300	CPU-302(16axes)	Ver1.18 以降
	CPU-302(32axes)	Ver1.18 以降
MP2000 シリーズ		該当機種なし

## No.2 Σ-Vシリーズサーボパック MECHATROLINK-II 通信指令型 複巻ユニットに対応しました。

以下のサーボパックについて、新規で追加しました。

- ① MECHATROLINK-II 通信指令型 複巻ユニット  
JUSP-MD\*11\* (回転型)

1. モジュール構成定義画面  
モジュール構成定義画面において、割付けできるように変更しました。
2. 固定、設定、モニタパラメータ  
固定、設定、モニタパラメータの詳細設定画面を追加しました。
3. サーボパラメータ/サーボモニタ  
サーボパラメータの詳細設定、サーボモニタの画面を追加しました。

01	<input type="checkbox"/> SVB01	----	<input checked="" type="checkbox"/> 回線5	1	A000~A7FF[H]
01	<input checked="" type="checkbox"/> JUSP-MD**11*	----	01	----	A000~A07F[H]
02	-- UNDEFINED --	----			
03	-- UNDEFINED --	----			
04	-- UNDEFINED --	----			
05	-- UNDEFINED --	----			
06	-- UNDEFINED --	----			
07	-- UNDEFINED --	----			
08	-- UNDEFINED --	----			

### 【対応バージョン】

#### ○コントローラ

コントローラ		対応バージョン
MP2000 シリーズ	内蔵 SVB	Ver2.94 以降

#### ○オプションモジュール

モジュール	対応バージョン
SVB-01	Ver1.35 以降



### No. 3 MECHATROLINK-Ⅲ通信指令型 ワイルドカード ステッピングモータドライブに対応しました。

以下のステッピングモータドライブについて、新規で追加しました。

- ① MECHATROLINK-Ⅲ通信指令型 ワイルドカード ステッピングモータドライブ  
Wild Card SteppingMotorDRV (回転型)

1. モジュール構成定義画面  
モジュール構成定義画面において、割付けできるように変更しました。
2. 固定、設定、モニタパラメータ  
固定、設定、モニタパラメータの詳細設定画面を追加しました。
3. ステッピングモータパラメータ  
ステッピングモータパラメータの詳細設定の画面を追加しました。

03	<input type="checkbox"/> SVC32	----	<input checked="" type="checkbox"/> 回線1	2	8000~8FFF[H]
01	<input checked="" type="checkbox"/> Wild Card SteppingMotorDRV	----	03[H] (00[H])	----	8000~807F[H]
02	-- UNDEFINED --	----			
03	-- UNDEFINED --	----			
04	-- UNDEFINED --	----			
05	-- UNDEFINED --	----			
06	-- UNDEFINED --	----			
07	-- UNDEFINED --	----			
08	-- UNDEFINED --	----			

#### 【対応バージョン】

##### ○コントローラ

コントローラ		対応バージョン
MP3000 シリーズ	内蔵 SVC	Ver1.18 以降
MP2000 シリーズ	内蔵 SVC	Ver2.94 以降

##### ○オプションモジュール

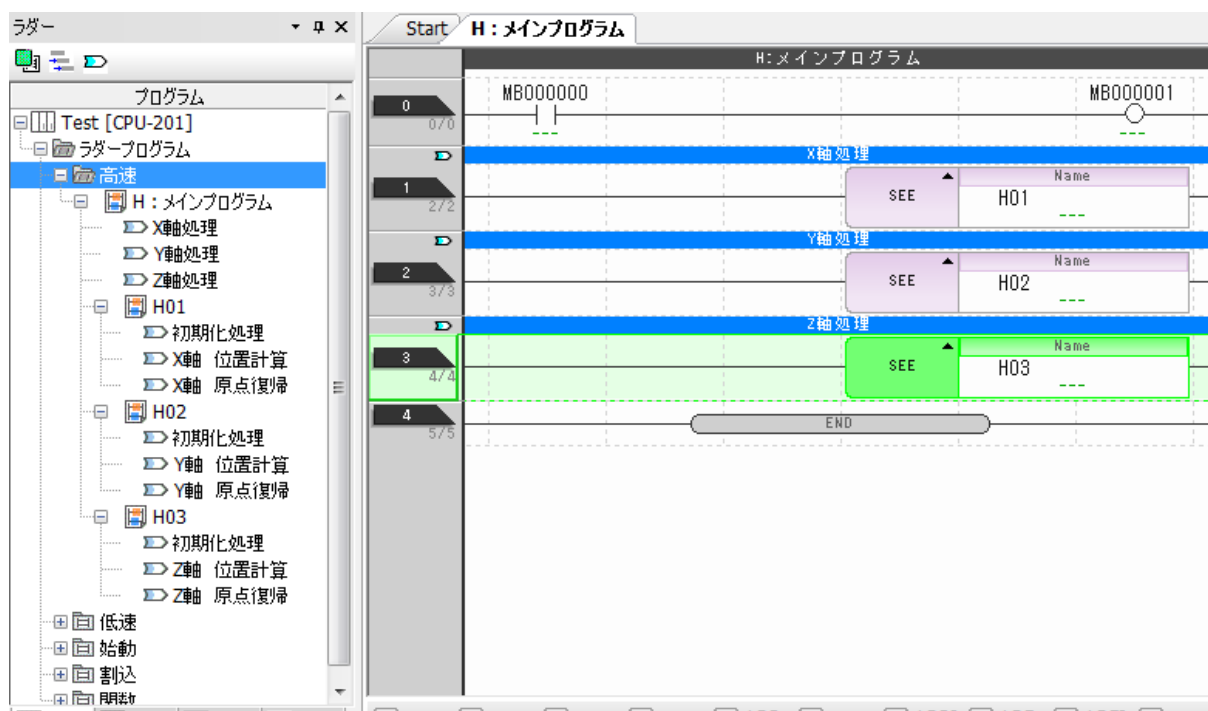
モジュール	対応バージョン
SVC-01	Ver1.15 以降

## No. 4 しおり機能をサポートしました。

ラダープログラム内でしおりコメントを登録することができます。

登録したしおりコメントは、ラダープログラムのツリーから参照することができます。また、ツリーから該当のしおりコメントにジャンプすることが可能です。

しおり機能に、ラダープログラムの処理内容を追加することで、プログラムの処理内容を俯瞰して確認することができます。



### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 5 Windows 8 対応を実施しました。

Windows OS の Windows 8、Windows 8.1 に対応しました。

### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 6 $\Sigma$ -V-mini のサーボパラメータを追加しました。

$\Sigma$ -V-mini のサーボパラメータに、以下のパラメータを追加しました。

### OSGDV-\*\*\*E11\*

番号	パラメータ名称	ファームバージョン
Pn240	予約パラメータ(変更しないでください)	Ver0028 以降
Pn884	通信制御 2	Ver0029 以降

### OSGDV-\*\*\*E21\*

番号	パラメータ名称	ファームバージョン
Pn240	予約パラメータ(変更しないでください)	Ver0028 以降
Pn868	SVCMD_IO(出力信号モニタ)割り付け機能 1	Ver0028 以降
Pn869	SVCMD_IO(出力信号モニタ)割り付け機能 2	Ver0028 以降
Pn884	通信制御 2	Ver0029 以降

### 【対応バージョン】

#### ○コントローラ

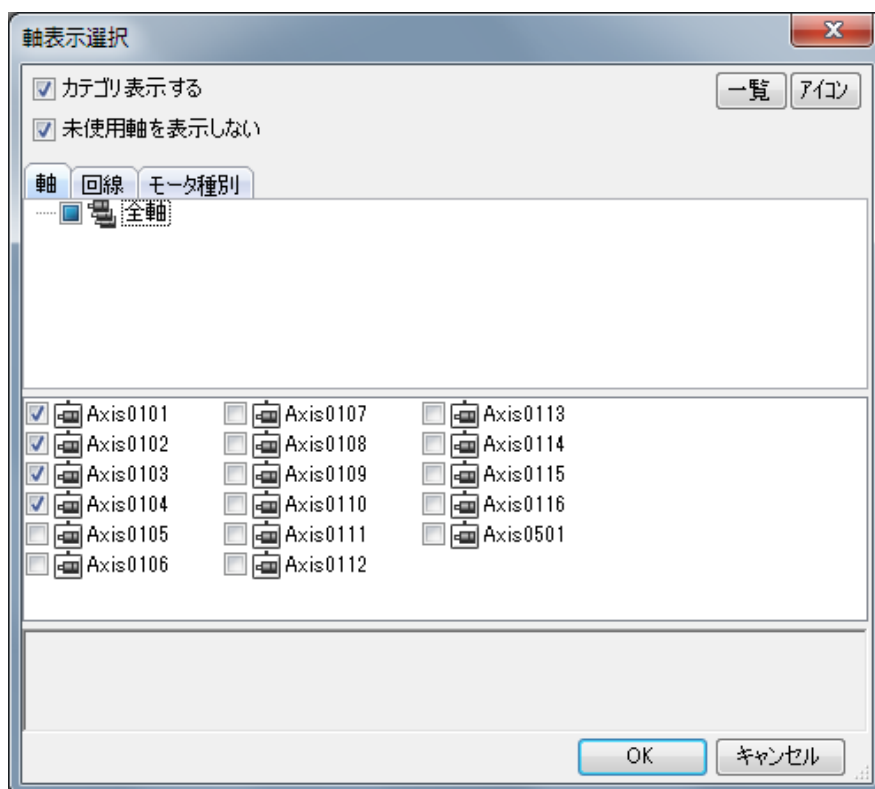
コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 7 サーボパラメータ画面の初期状態でのサーボ選択数を変更しました。

MC-Configurator のサーボパラメータ画面において、画面起動時に表示される「軸表示選択」ダイアログの選択個数がすべての軸にチェックされている状態で起動していました。

起動時の選択状態では、最大 4 軸までを選択した状態で起動するように変更しました。

これまでどおり、5 軸以上を選択して、サーボパラメータ画面を起動することも可能です。



### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 8 $\Sigma$ -7W のパラメータ Pn010 を非表示に変更しました。

$\Sigma$ -7W のサーボパラメータ Pn010 を非表示パラメータに変更しました。

Pn010 を変更すると、サーボパラメータが開けなくなる現象がありましたので、非表示パラメータに変更しました。

### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 9 リアルタイムトレース機能の表示更新処理を改善しました。

リアルタイムトレース機能において、取得するデータ点数が増加すると、トレース機能以外の操作が重くなってしまう現象がありましたので、トレースの表示更新処理を改善し、操作が軽くなるように改善しました。

### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 10 MPE720 のモニタ通信処理を改善しました。

MPE720 の通信処理において、非アクティブになっている画面でもモニタの通信処理が行われていましたので、非アクティブになった画面については、モニタの通信を行わないように改善しました。  
不要な通信を行わないようにすることで、MPE720 の操作が軽くなります。

### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 11 クロスリファレンス機能の表示処理を改善しました。

クロスリファレンス機能の変数/レジスタを入力するテキストボックスにマウスカーソルを移動すると、マウスカーソルが砂時計表示となっていましたので、砂時計表示とならないように、表示更新処理を改善しました。

### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 12 特定の IME と MPE720 の組合せで、日本語文字入力ができなくなる現象を改善しました。

ジャストシステム社製 ATOK の IME を使用している場合に、エクスプローラ、ファイルマネージャ上のフォルダ名、ファイル名に日本語文字の入力ができなくなることがありましたので、ATOK の IME を使用していた場合でも、日本語文字が入力できるように改善しました。

### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 13 MC-Configurator のモジュール構成画面の表示を改善しました。

MC-Configurator のモジュール構成画面において、モーションモジュールに割り付けした同一ステーションのスレーブ機器が複数表示されることがありましたので、同一ステーションのスレーブ機器が、複数表示されないように改善しました。

03	SVC32	運転中	回線1
01	SGD7S-****20*		03[H] (00[H])
+	SGD7S-****20*		03[H] (00[H])
02	-- UNDEFINED --		
03	-- UNDEFINED --		
04	-- UNDEFINED --		
05	-- UNDEFINED --		
06	-- UNDEFINED --		
07	-- UNDEFINED --		
08	-- UNDEFINED --		

### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 14 エンジニアリングマネージャの調整パネル機能を非表示に変更しました。

調整パネル機能については、Programmer に同等機能の調整パネルが存在するため、エンジニアリングマネージャの調整パネル機能を非表示機能としました。

Programmer の調整パネル機能をご使用ください。

MP2000 シリーズのプロジェクトファイルの場合、エンジニアリングマネージャの調整パネル機能が表示されていましたが、実装機能が不完全な状態となっており、現在値を変更すると、Bit 型レジスタの場合は、Word 型の範囲で現在値が変更される。Bit 型レジスタ以外の場合、現在値の書き込みができないという現象がありました。

### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

## No. 15 MC-Configurator のメモリークについて改善しました。

MC-Configurator の各パラメータ画面(固定、設定、サーボパラメータ等)を開いて、コピー&ペースト操作を繰り返すと、メモリークが発生し、エラーコード:0x80004005 のエラーメッセージが表示され、パラメータの編集ができなくなる現象がありましたので、これを改善しました。

### 【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。